

液状化の調査研究を

考慮し検討する



こまつ たかし 議員
小松 孝年

答 徳廣 情報防災課長

液状化のメカニズムは複雑で、解明されてない部分も多く、規模の予想はできていない。

土質などによる懸念を把握しながら、避難計画の中で、避難経路を選択する際、より安全な方法など検討していきたい。

問

黒潮町の液状化問題について、避難時にどのような影響が想定されるか。

また、液状化の起きる範囲や規模の想定をあらかじめ住民に周知しておくことが必要ではないか。

答

そのためには、液状化の懸念される地域の地質や水位、揺れる時間を考慮した調査、研究をし、正確な想定は難しいかもしれないが、今後の避難計画に生かすことが重要ではないか。

答 徳廣 情報防災課長

組み立て式防災トイレについては5カ所12基を整備している。また、携帯トイレや処理剤についても要望のあった避難所に合計で約2500セット導入している。

避難タワーのトイレは、

万行のタワーに3基、町タワー1基、浜の宮1基、早咲1基、横浜1基に折りたたみ式便座のトイレを配備しており、それぞれにテントもセットで整備している。佐賀タワーについては本年度中の配備を進めている。

トイレの配備についてはタワーだけではなく、その他の一次避難場所においても十分な状況とはなっていない。そういう場所にどのようなものを配備していくか、利用する方の意見を聞きながら、今後も全体的なバランスを考えて検討する。



地震による液状化で浮上したマンホールの事例

合宿効果

黒潮町民の元気の源に

ケーブルTVで住民へ紹介

黒潮町にきたチームや選手たちが全国レベルで活躍している。

専修大学の合宿で来ていた高橋礼投手はソフトバンクホークスで先日の日本シリーズや日米野球にも出場していた。

そういう内容をもっと町民に知ってもらい、黒潮町の元気の源にしていることが大切ではないか。

答 門田 産業推進室長

今年度では大会や合宿で何度も本町に来ている高知西高等学校と、長年大会に参加している佐賀県の龍谷高等学校も全国高校サッカー選手権への出場が決まったと吉報を受けている。

野球では、合宿で訪れている埼玉県の春日部共栄高校が秋季高校野球関



東大会で準優勝の成績を上げ、22年ぶり春の甲子園選抜高等学校野球大会への出場が確実であると期待をしている。

こういった学校があることを住民への紹介ができていなかった。知ってもらえば、テレビや新聞での関心の持ち方や応援の度合いも変わってくる。おもてなしの一環としても大切なことだと考えているので、ケーブルTVで紹介するなど、住民へ知らせるよう検討する。



大方球場にてキャンプ中の春日部共栄高校。砂浜トレーニングも取り入れている(上と左)

【その他の質問】

ケーブルTVについて